

# 今後のDX推進に向けて

令和8年4月10日(金)  
第1回DX推進本部会議資料

- ◆ 引き続き、4つの「**目指すべき姿**」を見据え、本市のDXコンセプト「**さいたまデジタル八策**」に沿った**施策展開**に取り組む。
- ◆ 業務における**生成AIの活用・データを活用した政策立案(EBPM)**を前提としつつ、**市民がデジタルの恩恵を実感**できる施策に注力。
  - 行政サービスを受けるために必要な**市への手続等によって発生する市民の負担**（時間、移動及び情報取得のコスト、その他の制約条件）を**可能な限り減らす**。
  - **多様な主体と連携しながら（官民共創）、地域社会のデジタル化を推進**していくことにより、市民一人一人の生活環境を、日々豊かで自由なものにしていく。
  - データの活用やデジタルツール導入によって、**効率的かつ的確で、かつ職員満足度も高い持続可能な行政を実現する**。
  - 時代の変化や新たな危機にも迅速に対応しうる**柔軟かつ堅牢なデジタル基盤及び体制**を構築する。



## 1 窓口デジタル化の推進

- ・ 全区に導入した「**書かない窓口**」で取り扱う帳票を増加させ、**導入効果の最大化**に取り組む。
- ・ 令和7年度末に完了の「**原則オンライン化**」について、**オンライン化対応状況等を公表**するとともに、**利用率向上に向けた方針の策定や利用状況等の分析**により、**一層の利用促進**に取り組む。

## 2 アナログ規制の点検・見直し

- ・ 令和7年度末に完了の「**点検・見直し**」の結果を公表するとともに、**継続的な見直し**により、**デジタル技術の活用を阻害する要因の解消**に取り組み、**デジタル化の推進**に繋げていく。

## 3 市民アプリ・デジタル地域通貨の活用

- ・ 各局等の事業と「**さいたま市みんなのアプリ**」の連携・データの活用により、**様々な行政サービスを便利で使いやすく提供**する。
- ・ 各局等の事業と**デジタル地域通貨（さいコイン・たまポン）**の連携により、**地域経済の活性化などの地域課題の解決に資する事業を効果的に実施**する。

## 4 デジタルデバイドの解消

- ・ **地域ICTリーダー、連携協定締結企業及び庁内関係課と連携**し、「**オールさいたま**」でのきめ細やかなデジタルデバイス対策に取り組む。

## 5 さいたまシテスタット等によるデータ活用の推進

- ・ 「**データ利活用手順書**」「**データマネジメントガイドライン**」を活用し、**所管課によるEBPMの自走化**を積極的に支援する**モデル事業**を実施する。
- ・ データ利活用に必要なスキル習得に向けて各職員の**習熟度に応じた研修メニュー**を提供。さらに、**事業等の企画・改善**において実践的にデータを利活用できる職員を育成する「**データ利活用コア人材育成プログラム**」を実施する。

## 6 「さいたまDX戦略2030」に基づくDXの推進

- ・ 中間見直し後の総合振興計画及び「DX推進に向けた当面の重点事項」（デジタル八策）の内容を反映し、本市内部方針として新たに策定する「さいたまDX戦略2030」に基づき、本市DXを推進するとともに、**毎年度末に最新の取組等を反映した改定を行う。**

## 7 デジタル技術のガバナンスの確保

- ・ 新たに策定した「さいたまデジタル技術のガバナンス方針」を踏まえ、下位文書である「さいたま市情報システム最適化ガイドライン」を毎年度末に見直すことで実効性を確保し、もってDXの推進に資するものとする。

## 8 生成AI活用の推進

- ・ さらなる業務改革を進めるために、**有償版生成AIやRAG（検索拡張生成）の正式導入へ向けて検証**を行っていく。
- ・ 全庁的な**利用ルールやロードマップ**を策定し、**先進ツールも含めた効果的な活用環境を整備**していく。

## 9 デジタルワークフロープラットフォーム導入の検討

- ・ 庁内手続きをデジタル化し、処理の早さと正確さを高め、市民サービスをより便利で分かりやすくするための**デジタルワークフロープラットフォームの導入について検討**する。

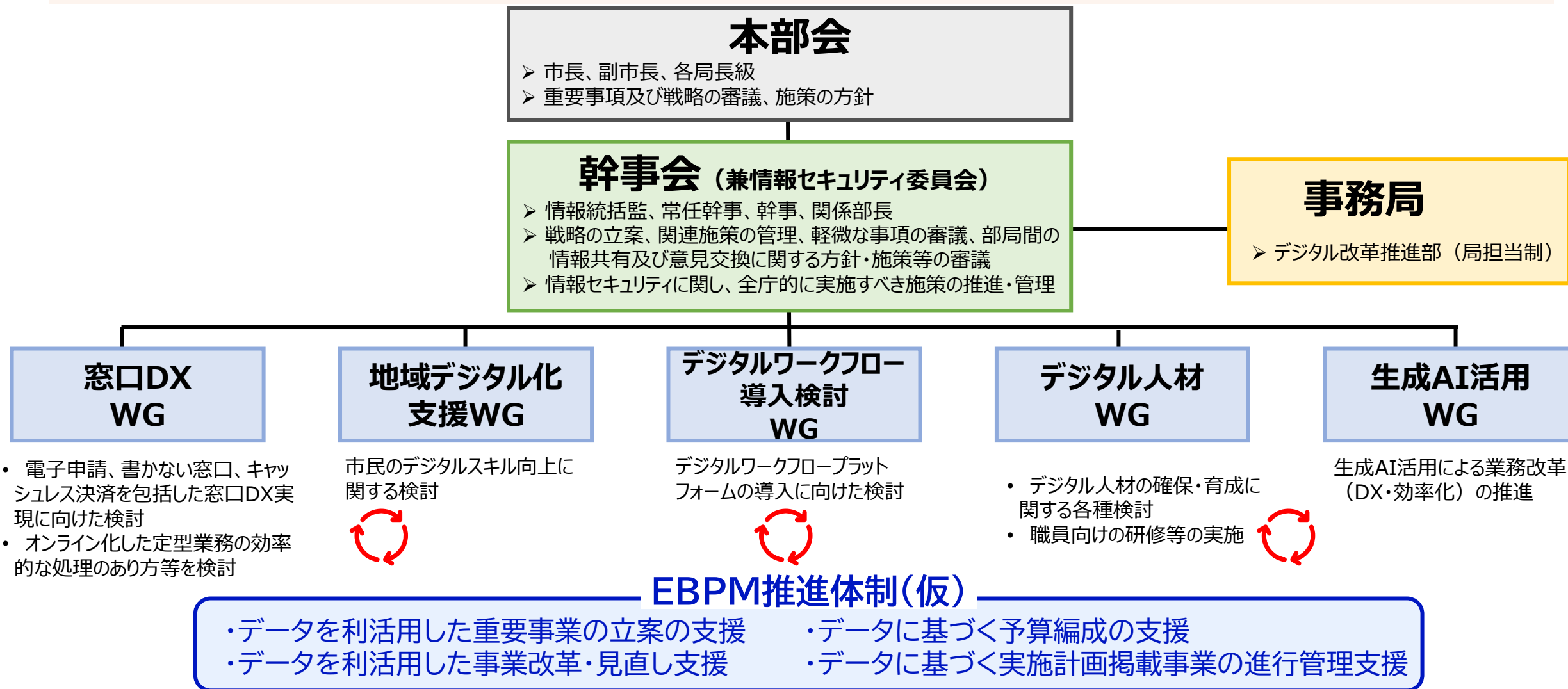
## 10 デジタル人材育成

- ・ 「**デジタル人材育成方針**」及び「**令和8年度研修プログラム**」に基づき、DX推進に必要な人材の育成に全庁一丸で取り組む。
- ・ 庁内関係課と連携しながら職員向けの**各種研修の実施や補助制度等**により、**職員のデジタルスキルの向上**を図る。

# さいたま市DX推進本部体制

令和8年4月10日(金)  
第1回DX推進本部会議資料

- 下記体制にて、さらなる本市のDX推進に取り組む。
- 引き続き、個別テーマを設定した「5つのワーキンググループ（WG）」において、庁内関係者と実務的な議論・協議を行いつつ、部長級の幹事会にて大局的な視点と責任を持って議論を進めて行く。



# 令和8年度のスケジュール感（前半）

令和8年4月10日(金)  
第1回DX推進本部会議資料

		令和8年度					
		4月	5月	6月	7月	8月	9～10月
DX推進本部	本部会	★					
	幹事会	随時、必要に応じて開催（11月及び3月は必須）					
	WG	随時、必要に応じて開催（11月及び3月のDX幹事会において、中間報告・最終報告）					
	事務局 (デジタル改革推進部)	★ DX戦略発出	予算化に向けた検討（主要事業概算調査・集中審議 等）				★ 令和9年度DX一覧作成
サポート体制 (通年)		各種相談対応・事前協議・伴走支援 (外部人材・局担当・DXサポーター等)		デジタル人材の育成 (研修等の実施)		DX推進に係る環境整備	
各所属		「DX戦略」に沿った施策実施、各種実証実験・効果検証					
		デジタル活用を含めた事務事業見直し（事務点検）					

